

さらに伸びるチャンスです

通級学級についてお知りおきください

自分を変えるヒントがあります



通級教室の案内です

今年度から本校に通級教室ができました。

本校の通級学級は、普通学級で学習をしている生徒を対象にし、本校以外に、生保内中、神代中、西明寺中、桧木内中の生徒の皆さんも入級することができます。

悩みを抱えた生徒の皆さんにも、環境を整えば見違えるように伸びる力があります。通級学級では、目の前に迫る受検にも対応しながら、その後の就職、自立を目指した支援をします。

悩んでいませんか



通級学級では次のような支援をします

勉強はよくできるが
人とうまくかかわれない



【 個別に支援します 】

- ・一人ひとりにあった学習方法を学ぶことができます
- ・教科の補充学習ができます
- ・基礎基本的な学習ができます

やればできるのに
学習意欲がわかない



【 グループ学習やペア学習で支援します 】

- ・人とのかわり方が身につきます
- ・社会の中で生きていくための力が身につきます

落ち着きがない
人の話を良く聞けない



生徒・保護者の皆さん、お気軽に 担当の佐々木紀子(ささき) までご相談ください



横手清陵中との試合から

栄光・栄誉

第63回 大曲仙北中学校春季野球神岡大会
優勝 (全県大会出場)

この大会で本校は、昭和30、32、33、37、52
54年、平成7年に優勝しており、17年ぶりの制覇です。

第50回 大曲仙北青少年保護育成柔道大会 兼
第21回 大曲仙北中学校春季柔道大会
女子個人 優勝 松本 愛未

第33回 角館選抜県南小中学校剣道大会 及び
第4回 仙北市選抜小中学生剣道大会
中学校男子の部 第3位
優秀選手賞 鈴木佑真

保護者の皆様、今後も部活動へのご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

《《《 角中散歩 ② 【すずかけの道】 》》》



春の芽吹きを待つすずかけの木

正門から校舎までの通路の両側にすずかけの木（プラタナス）が33本あり、「すずかけの道」と呼ばれてきました。

旧角館中、雲沢中、中川中が統合した翌年の昭和34年に植樹され、その後、昭和60年の旧角館中と白岩中の統合を経ての長い間、本校の確かな歩みを見守ってくれています。学校祭も「すずかけ祭」と名付けられ、生徒会最大の行事として本校生徒が生き生きと活躍する場になっています。

また本校には、卒業生の故本田武久さんとHa-jさんが、角館の情景を歌い込み制作していただきました「すずかけの道」があります。角館中学校の心の歌として大切に歌い継いでいきたいと思います。



すずかけの四季



詩 山田百合子先生
(昭和33～ 44、53～59 旧角館中御在職)

みどりはもえる
みどりさやけき
みどり深まる
みどりゆたけし

まっすぐな光りの暑さを
たけりゆく吹雪の痛さを
はだらな幹にしっかりとしるし
今ここに豊饒の樹並となって
すずかけの道はある

入学のよろこびを胸に
希望にもえてこの道に立つとき
きっぱりと枝をおろして
固いこぶしをもつすずかけは
父のように峻厳に
立志の誓いを問いかける

走る
跳ぶ
投げる
力の限り鍛えあい
汗にまみれてみあげるとき
強い日光(ひかり)に耐えぬいて
さやかにそよぐすずかけは
兄のように剛直に
奮起の情熱をかきたてる

英知と創造と思索と
この一年(ひととせ)のわが生を語り合うとき
大空そめる夕やけに
梢あかるきすずかけは
親友(とも)のように誠実に
賛嘆こめてうなずきかえす

栄(は)えある巢立ちの朝
感謝と惜別の心あふれてあゆみゆけば
根深に 構えてゆすぎなく
雪花うけるすずかけは
母のように愛こめて
飛翔(か)ゆく明日をさし示す

めぐる季節をみおくりながら
すずかけの道に時は流れる
若き心をあずかりしときを
出発(たびだち)ゆきし決意のときを
その姿にしっかりと受けて
今ここに角館中学校の象徴となって
すずかけの道はある

ああわれらきょうの日にこそ
すずかけのもとに集いて
よろこびとほこりを胸に
いざたたえなん
うたわなんすずかけの樹を

すずかけの道

作詞 本田武久
作曲編曲 Ha-j

雪が解けて
芽吹く露のとう
春風に桜舞う
ひのきない川
蛍が飛び交い
かえるの鳴き声
夏の空 染め上げて
花火が散る
くじけそうになった時は
ふるさと支えてくれるね
大切なもの
かけがえのないもの
気がついた今日からは
生きてゆける

山の息吹き
おやま囃子
懐かしいかけ声に
少年に帰る
くじけそうになった時に
仲間が そくに居たから
夜は明ける
季節はめぐる
またあしたに向かって
生きてゆける

このうたと一緒に
生きていこう

旧角館中学校創立二十周年記念誌「すずかけ」に掲載されている詩です。

